

令和6年度第2回尾張旭市地域公共交通会議 会議録

1 開催日時

令和6年11月13日（水）

開会 午前10時30分

閉会 午後0時5分

2 開催場所

市役所 302・303会議室

3 出席構成員

松本 幸正、成瀬 史宣、水摩 憲生、唐井 仁一、高橋 芳江、渡邊 幸江、久米 裕之、横田 太、清水 徳幸、小林 裕之、横山 貴幸、若杉 将成、高井 勇輔（代理：柴田 浩伸）、宮川 高彰、石屋 義道（代理：高臣 綾子）、加藤 純丈、服部 大介、伊藤 秀記

計18名

4 欠席構成員

なし

5 傍聴者数

9名

6 出席した事務局職員

都市計画課長 望月 滋之

都市計画課係長 鵜飼 あづみ

都市計画課主査 長江 賢造

長寿課長補佐 秋山 さちこ

福祉課係長 鎌倉 大明

7 議題等

- (1) デマンド交通実証実験の実施について（報告事項）
- (2) イトヨーカード尾張旭店の閉店に伴う市営バスの対応について（報告事項）
- (3) AIオンデマンド交通「チョイソコせとあさひ」の実施内容等について（報告事項）
- (4) その他（報告事項）

8 会議の要旨

事務局（都市計画課長）	<p>本日は、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから、令和6年度第2回尾張旭市地域公共交通会議を開催させていただきます。</p> <p>本会議におきましては、附属機関等の基本的取扱いに関する要綱第7条第5項の規定により、会議を公開することとしていることから、傍聴を認めていることをあらかじめ御了承いただきますようお願いいたします。なお、尾張旭市地域公共交通会議傍聴要領において、傍聴人の定員は5人と定めておりますが、本日は傍聴を希望される方が9人みえております。御</p>
-------------	---

	<p>出席の皆様のご承認が得られましたら、希望されている方全員に傍聴いただきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(全員異議なし)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>なお、本日の出席者の御紹介につきましては、時間の都合上、お手元に配布しております出席者名簿によりまして、御紹介に代えさせていただきますので、あらかじめ御了承願います。</p> <p>それでは、以後の会議の進行につきましては要綱第4条第2項により松本会長にお願いしたいと思います。松本会長、よろしくお願いたします。</p>
松本会長	<p>皆さん、こんにちは。それでは、ここからは私が、会の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>本日は、議題が4つで、報告事項が4件となっています。それでは、議題(1)「デマンド交通実証実験の実施について」、事務局から説明してください。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>それでは、説明に入る前に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p><配布資料の確認(省略)></p> <p>それでは、議題(1)「デマンド交通実証実験の実施について」、担当者より御説明します。</p>
事務局(都市計画課主査)	<p>それでは、議題(1)「デマンド交通実証実験の実施について」、御説明します。</p> <p><資料1-1、資料1-2に基づき説明(詳細は省略)。本議題が協議事項ではなく、報告事項である理由は、以下のとおり説明。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー車両を活用したデマンド交通が、新たな交通手段となり得るかどうかを検証するため、実証実験を行うことについて、現在、検討をしている。本実証実験の実施協議については、2月に予定している次回の地域公共交通会議で行うことを想定しているが、本日は検討段階の内容について、報告する。なお、2月の次回会議に向けては、本日の会議内容を踏まえ、本実証実験の内容を検討していく。
松本会長	<p>議題(1)「デマンド交通実証実験の実施について」の説明がありましたが、御意見、御質問はありますか。</p> <p>説明があったとおり、事務局ではデマンド交通実証実験の実施を考えており、今日の会議での御意見などを踏まえ、さらに検討を進めていくとのことでしたので、何なりと御意見、御質問をいただければと思います。</p>

成瀬副会長	ひまわり福祉会です。利用登録及び利用予約が必要との説明がありましたが、具体的な方法を教えていただきたいと思います。
松本会長	それでは、事務局より利用登録及び利用予約の具体的な方法について、説明をお願いします。
事務局(都市計画課係長)	現時点では、具体的な手続の方法は定まっていますが、まず、利用登録については、資料中に記載のある対象者の方に利用登録申請書のようなものを提出してもらい、その内容を事務局で確認した上で、カード式の会員証のようなものをお渡しすることを想定しています。続いて、利用予約については、利用者の方に直接タクシー事業者にお電話をしていただいて、あらかじめ、利用日時や乗降場所、乗車人数などを調整していただく形を考えています。基本的には、利用前日までの予約をお願いすることを考えていますが、タクシー車両に空きがあれば、当日予約もできるような仕組みを想定しています。
成瀬副会長	御説明ありがとうございます。実証実験の対象者として想定している方は、交通弱者であると同時に、様々な情報を得ることが苦手な方たちだと感じています。そのため、この実証実験の情報がこういった方たちにも行き届くような取組ができると良いと思います。例えば、高齢者の方については、ケアマネさんを通じて周知をしていく、障がい者の方については、相談員の方を通じて周知をしていくといったことが考えられるのではないのでしょうか。実証実験の周知については、丁寧にしていく必要があると考えています。
松本会長	事務局いかがでしょうか。
事務局(都市計画課係長)	この後の議題(3)チョイソコせとあさひの実証実験もそうですが、情報を本当に必要な方たちに届けることは、非常に難しいと感じています。現在、検討をしているデマンド交通実証実験については、対象者の方がかなり限定されるものになりますので、情報を本当に必要な方たちに対して届けることができるように、周知のタイミングでは、先ほどいただいたようなアドバイスを参考にしながら、工夫をしてやっていきたいと思っています。また、できる限り、地域の中に入って説明をしていきたいと考えています。
松本会長	非常に良いアドバイスをいただきました。他の自治体の例でもケアマネさんを通じて周知することは有効だと感じていますので、ぜひ実施していただければと思います。一方で、それだけでは不十分だと感じますので、少なくとも福祉部門とは共有いただくことにより、福祉部門の担当部署も実証実験のことを知っているという状態にしていきたいと思っています。他にも説明会や様々な媒体で周知をしていただくことにより、知らなかったという人がいないようにできると良いと考えます。
横田構成員	豊栄交通です。我々は、他の市でデマンド交通を実施していますの

	<p>で、参考になりそうな話があれば、情報提供をしていきたいと思えます。今回の実証実験は、2つのエリアを設定されていますが、尾張旭市営バスの運行事業者としては、例えば、西ルートのどうだん亭から小幡緑地東園にかけての狭い道路については、市営バス車両での運行に課題を感じています。そのため、こういった地域については、デマンド交通で運行してはどうかという考えもありますので、実証実験終了後に、エリアを広げるタイミングがあれば、また意見を出させていただければと思います。</p>
松本会長	<p>御意見ありがとうございます。周知の方法は、何かアイデアがあれば、事務局にお伝えいただければと思います。また、この実証実験の内容は、今回の会議の意見を参考に、さらに内容が検討されていきますので、その他御意見などあれば、お願いいたします。</p>
唐井構成員	<p>自治連合協議会です。資料中の乗降場所案についての確認です。実証地区内に立地する生活利便施設に移動できるということですが、自宅からバス停などを経由せず、直接行けるという考え方でいいのでしょうか。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>資料1-1の「7 別図(実証地区)」に薄いピンク色で示している範囲であれば、自宅前、鉄道駅、バス停留所、病院といった生活利便施設間での移動ができる仕組みを考えていますので、自宅からバス停などを経由せず、直接、生活利便施設に移動することができます。</p>
松本会長	<p>北東部のエリアの南側に飛び地のような形で移動可能範囲が設定されていますが、これはどういった考え方ででしょうか。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>こちらは、イトーヨーカドーを示しています。買い物利用が多く見られる場所になりますので、少し区域からは外れていますが、利用できる仕組みを想定しています。</p>
松本会長	<p>市南西部の方も利用できる仕組みを想定しているのでしょうか。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>北東部の方のみが飛び地として利用できる仕組みを想定しています。</p>
松本会長	<p>そうしますと、市北東部と市南西部のピンク同士は移動できない。さらにイトーヨーカドーは、市北東部のピンクのみに含まれているという理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>そのような制度設計を想定しています。</p>
松本会長	<p>制度設計については、皆様にも御認識いただければと思います。他に御意見、御質問はありますか。</p>
久米構成員	<p>名鉄バスです。乗降場所案としてバス停留所を設定していただいているのはありがたいと感じています。ただし、市南西部の黄色で囲った対象地区には弊社のバス路線があり、鉄道駅や尾張旭市役所などへ</p>

	<p>の移動を担っています。この路線は、利用者がそこまで多いというわけではありませんが、我々は一人一人のお客様からいただいている運賃で経営が成り立っている状況ですので、デマンド交通実証実験により、この路線の利用者が減少してしまうのではないかと懸念があります。実証実験をやらないでくださいというわけではありませんが、今後、実証実験をする中で弊社の路線に影響が出るようであれば、内容などについて、御相談をさせていただきたいと思っています。</p>
松本会長	<p>事務局いかがでしょうか。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>バス停留所というのは、デマンド交通でバスまでつなぐという意図で設定しています。このデマンド交通と他交通モードで利用者を取り合うことは、事務局として求めていませんので、実証実験の乗降場所については、この点も配慮しながら設定していきたいと考えています。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>今回、名鉄バスの路線については、地域間幹線系統という位置付けで想定していますので、デマンド交通でそこまでつなぐということが大事だと考えています。</p>
松本会長	<p>税金を投入することにより、民間の関係事業を圧迫するというのはあってはならないことだと思いますので、そこは御配慮いただく必要があります。ただし、どういう実態が出てくるかが分かりませんので、ひとまず実証実験で明らかにしながら、もしも電車やバスの移動を奪っているようであれば、それは今後のルールに反映していくという考えでよろしいでしょうか。</p>
久米構成員	<p>その考えで構いません。</p>
松本会長	<p>ちなみにこの南西部の区域から実証実験の移動可能範囲に名鉄バスで移動した場合、運賃は、最大いくらになるのでしょうか。</p>
久米構成員	<p>最大230円になります。</p>
松本会長	<p>この実証実験ではタクシー車両が自宅まで来ますので、自宅から近くにバス停があるにもかかわらず、この仕組みを利用してしまふことを名鉄バスさんは懸念しています。ただし、幸いにも名鉄バスの方がデマンド交通実証実験の300円よりも料金が安いので、利用者がどれくらい移るのかは、実証実験にて検証をしてみましようということですね。</p> <p>ちなみに本実証実験では、施設から施設の移動も可能なのでしょうか。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>資料中の移動可能範囲内であれば、施設から施設の移動も可能な仕組みを想定しています。</p>
松本会長	<p>その仕組みであれば、自宅から病院に行った後に、美容院に行くといったことも可能なのでしょうか。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>その都度300円を支払っていただく必要がありますが、予約が取れば、そういった利用も可能です。</p>

松本会長	<p>そういった仕組みということですので、皆様にも御認識いただければと思います。</p> <p>他に御意見、御質問はありますでしょうか。</p>
宮川構成員	<p>愛知運輸支局です。3点確認させていただきます。名鉄バスの運行範囲については、乗降場所が利用者を取り合う場所とならないよう配慮しながら設定していく考えがあるとのことでしたが、あさび一号の運行範囲はどのような考えでしょうか。</p> <p>続いて2点目になります。利用する際は、利用者がタクシー会社に電話をかけて予約をすることになるとと思いますが、タクシー会社として、あと10分から20分待ってくれば配車できるといったような状況があった場合、お互いが調整をすれば、利用することができるのでしょうか。</p> <p>続いて3点目になります。タクシー会社では予約の情報を基に、乗車場所と降車場所の情報を把握することができると思いますが、事務局にもそのOD調査の情報は提供してもらえそうな形になるのでしょうか。</p>
松本会長	事務局いかがでしょうか。
事務局(都市計画課係長)	<p>1点目のあさび一号についてですが、今のところは、特に対応をする予定はしていません。</p> <p>続いて2点目の時間調整についてです。今後、タクシー事業者さんと詳細を詰めていくことになるかと思いますが、そういったこともできるようにお願いをしていきたいと考えています。あくまでも空きタクシーを使う事業になりますので、利用者さんにも譲れるところは譲ってもらおう形を考えています。</p> <p>続いて3点目のOD調査についてです。こういった移動があったかというのは、できる限り事業者さんの負担にならない形で、乗車ごとに記録をつけていただくことにより、把握をしたいと考えています。</p>
松本会長	<p>先ほどの名鉄バスとの競合や、実はあさび一号で移動できる方がこの実証実験を活用していたなどを検証するためには、移動実態を明確に捉えておく必要がありますので、多少手間がかかってもOD調査によるデータ取得は、必須だと思います。その上で本格実施、目的地の拡大等の検討をデータ検証に基づいて実施していくという姿勢が必要だと感じますので、事業者さんに御協力をいただきながらしっかりデータを取っていくようにしてください。</p> <p>他に御意見、御質問はありますでしょうか。</p>
横山構成員	<p>名古屋タクシー協会です。我々、マルセタクシーも加入している尾張旭市と瀬戸市を運行するタクシー事業者で構成する名古屋タクシー協会瀬戸旭部会という組織がありますが、約15年前と比較すると、事業者数が減少し、車両台数については、概ね半分程度になってしまっています。そういった状況の中で、こういったデマンド交通の</p>

	<p>実施により、タクシー事業による地域交通の維持・確保を図っていただけるのは大変ありがたいと感じています。約15年前と比較しますと、各タクシー会社も密に連絡を取りながら、事業を進めていますので、本日の御意見は他社にも共有したいと思います。また、先ほど御意見のありました時間調整については、マルセタクシーでは、そういった調整をしないとタクシー車両が回っていない状況ですので、利用者の方と話し合いながら、事業を進めていきたいと思っています。我々として、どこまでタクシー車両を供給できるのかという不安はありますが、この事業がこれまでタクシー利用に対して、ハードルの高さを感じていた方たちのハードルを下げる機会になれば、大変ありがたいと感じています。</p>
松本会長	<p>この辺りの地域は、日中のタクシー利用はコロナ前よりも増えているにもかかわらず、運転手は不足しているという状況であるため、今回の実証実験のニーズに応えられるのかという心配があるということですね。そこも実施をしながら検証していただければと思います。</p> <p>私から携帯電話を持たないお年寄りの対応についての確認です。携帯電話を持たないお年寄りが病院に行こうとした場合、行きの予約は問題ないと思います。ただし、帰りの予約も同時にしていたとすると、診察が予定よりも延びてしまったような場合、そのことすら連絡する手段がないと思いますが、どのように対応するのでしょうか。</p>
事務局(都市計画課長)	<p>確かにそういった懸念はありますが、例えばマルセタクシーさんであれば、イトーヨーカドーにマルセタクシーさんへの連絡専用の電話があったりします。</p>
横山構成員	<p>病院であれば、受付の方がタクシー会社への連絡に関する対応をしてくれます。公衆電話から電話をかけてくる方の場合、言われた地点に行ったが居ないケースがあり、その後は、連絡の取りようがないため、タクシー会社として困ってしまうことがあります。</p>
松本会長	<p>その病院との連携は素晴らしいですね。そういう意味では、実証実験の前には、実施することを停留所として設定する病院やスーパーに伝える必要があると思います。</p>
事務局(都市計画課長)	<p>停留所を設定する上では、設置先の方の御協力が必要だと感じますので、その辺りは丁寧に説明をしながら、御協力をお願いしていきたいと思っています。</p>
松本会長	<p>その点も実証をしながら、もし問題点が出てくれば、都度考えていくと良いと思います。</p> <p>続いて実証実験の対象者についての確認です。先ほどの説明の中で免許返納者については、検討していくということでしたが、要介護者は対象者に入っているのでしょうか。</p>

事務局(都市計画課係長)	今のところ、要介護者の方は、対象者に入っていないです。
松本会長	要介護・要支援の方は、入っていないんですね。入っていない意図を教えてくださいいただければと思います。
事務局(都市計画課係長)	事務局の方で要介護・要支援の方という想定をできていなかったため、対象者に入れていませんでしたが、移動が困難になっている方もいるかと思しますので、今後、対象者の追加について、検討をしていきたいと思っております。
松本会長	理由があつて外しているということであれば、ぜひ検討をしていってください。また、要支援の予備軍のような形で事業対象者という方々もお見えですので、まだ動けるうちに歩かせていただくことを目的として、事業対象者も本実証実験の対象とすることを検討していただくと良いのではないのでしょうか。 他に御意見、御質問はありますか。
成瀬副会長	今回の実証実験では、車椅子の方が乗車できるタクシー車両はあるのでしょうか。
横山構成員	車椅子の方が乗車できる車両もあります。先ほどの要介護・要支援の話にもつながりますが、あくまでタクシーというのは乗用旅客であるため、運転手が乗車に際して、支援することはできません。介護で使用するのであれば、介護タクシーという分野がありますので、そのすみ分けはしっかりとされた方が良いでしょう。車椅子で乗車される場合は、付添いの方が車椅子での乗車を支援可能な状況にあるが、車両を用意できるかといったような形で問合せをしていただければと思います。
松本会長	横山構成員の御意見のとおり、全ての要介護の方をこの実証実験で対象にすることはできませんので、そこは明確にしておく必要があります。例えば、軽い認知症で要介護になっている方とストレッチャーに乗る必要があります。要介護になっている方では扱いが変わってくるということだと思っております。 横山構成員へ1点確認です。本実証実験を実施することになると、尾張旭市内の一般タクシーの利用を奪い合うことにつながる可能性があります。名古屋タクシー協会としては、実証実験を実施することに対してはどのような見解でしょうか。
横山構成員	本実証実験については、タクシー事業としての運賃を受け取ることができることから、需要の掘り起こしがメインになってくると考えています。私からマルセタクシー以外の名古屋タクシー協会瀬戸旭部会所属のタクシー事業者に本実証実験の話をしてはいますが、反対意見などは出ていません。

松本会長	タクシー事業者として反対するわけではないということですね。他に御意見、御質問はありますでしょうか。
久米構成員	地区ごとで本実証実験の対象者が概ねどの程度いるのか、教えていただけますでしょうか。
事務局(都市計画課係長)	事務局で持っている数字は、令和2年度国勢調査の75歳以上高齢者の人数になりますので、少し前の数字になってしまいますが、市北東部は1044名、市南西部は1037名となっています。ただし、こちらは、令和2年度の数字になりますので、現時点では、もう少し増えているかと思えます。その他の障がい者の方や妊婦の方については、現時点では数字を把握しておりません。
松本会長	妊婦の方は対象となっていますが、産婦の方は対象とならないのでしょうか。
事務局(都市計画課係長)	産婦の方については、対象者としている未就学児の付添いで乗車いただけるかと考えていますので、対象者には含めていません。
横田構成員	基本的に、タクシー車両にはチャイルドシートを備え付けていないため、その点については、周知をした方が良いでしょう。
松本会長	個人のチャイルドシートをタクシーに持ち込み、使用することはできるのでしょうか。
横山構成員	使用はできますが、これまでそういった問合せを受けたことはありません。小さな子どもがいるような場合は、親が子どもを抱えて乗車をしています。
松本会長	尾張旭市は、若い世代もまだまだたくさんいると思いますので、本実証実験のような子育て世代への手厚いサポートというのは、あった方が良いでしょう。 他に御意見、御質問はありますでしょうか。 特に御意見等もないようですので、まとめさせていただきます。事務局から冒頭で説明がありましたが、本実証実験については、2月に予定している会議での協議を想定しています。そのため、本日皆様からいただいた御意見を参考に事務局で検討を深めていただければと思います。 それでは、続きまして議題(2)「イトーヨーカドー尾張旭店の閉店に伴う市営バスの対応について」に移りたいと思います。事務局から説明してください。
事務局(都市計画課主査)	それでは、議題(2)「イトーヨーカドー尾張旭店の閉店に伴う市営バスの対応について」、御説明します。 <資料2に基づき説明(詳細は省略)。以下の事項は、資料中に記載がないため、口頭にて説明。> ・現在の停留所への乗入れができず、ルート変更を正式に実施する場合

	<p>は、尾張旭市地域公共交通会議での協議が必要となる。その際は、別途書面にて協議をするため、御承知いただきたい。</p>
松本会長	<p>議題(2)「イトーヨーカドー尾張旭店の閉店に伴う市営バスの対応について」の説明がありましたが、御意見、御質問はありますでしょうか。</p>
横田構成員	<p>これから合意形成を図るということですので、場合によっては、別の場所に移設する可能性もあるのでしょうか。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>御認識のとおり、場合によっては、臨時停留所の設置や移設が必要となる可能性があります。</p>
横田構成員	<p>いずれにしても開店直後は渋滞により、遅延が発生することが予想されます。遅延が長くなると、運行事業者としては、運転手の拘束時間が長くなることが懸念されます。ただし、渋滞の状況というのは、開店してからでないと分からないため、様子を見ながら柔軟に対応方法を考えていきたいと思えます。</p>
松本会長	<p>関係者間の合意が得られ、今と同じルートを運行する場合は、手続上は何も必要ありません。ただし、店舗開店に伴い、周辺道路の大渋滞が予想されるのであれば、開店直後だけ迂回ルートを取る必要があるかもしれないということですね。開店直後だけ迂回ルートを運行するような場合は、愛知運輸支局への手続が必要になるのでしょうか。</p>
宮川構成員	<p>こういった迂回運行を計画して実施する場合には、愛知運輸支局への手続が必要になります。</p>
松本会長	<p>開店直後に大渋滞が予想される場合は、公安委員会も含めて相談をした上で、迂回ルートでの運行が想定されます。この場合、本会議での協議が必要になります。また、関係者間の合意が得られずに現状の運行ルートを変更する場合も本会議での協議が必要になります。いずれのケースも時間的余裕がないため、事務局としては書面協議にて、対応をしたいということだと思います。</p> <p>他に御意見、御質問はありますでしょうか。</p> <p>資料中の対応方針について、皆様からの御意見がなかったため、事務局には、まず、関係者間の合意形成を図っていただきたいと思えます。もし、合意形成が図れず、本会議での書面協議が必要になる場合は、その手続を速やかに取るようにしてください。</p> <p>それでは、続きまして議題(3)「A I オンデマンド交通「チョイソコせとあさひ」の実施内容等について」に移りたいと思えます。事務局から説明してください。</p>
事務局(都市計画課主査)	<p>それでは、議題(3)「A I オンデマンド交通「チョイソコせとあさひ」の実施内容等について」、御説明します。</p> <p><資料3に基づき説明(省略)></p>

松本会長	議題(3)「AIオンデマンド交通「チョイソコせとあさひ」の実施内容等について」の説明がありましたが、御意見、御質問はありますでしょうか。
水摩構成員	自治連合協議会です。尾張旭市全体の登録者数が42人ということですが、事務局としては、この人数について、どのように感じているのでしょうか。
事務局(都市計画課係長)	チョイソコせとあさひについては、年齢制限を設けていない仕組みであるため、お住まいの方の人数と比較すると、少し登録者数が少ないかなという印象を持っています。
水摩構成員	どこに移動される方が多いのでしょうか。
事務局(都市計画課係長)	尾張旭市内からは、陶生病院に移動される方が多い状況となっています。
横山構成員	<p>チョイソコの日々の運行についてはマルセタクシーとアイシンさんで実施をされており、アイシンさんを中心に周知も図っていますが、登録者があまり増えていない状況となっています。登録者が増えていない理由として、弊社が把握しているのは、認知度が低い、高齢者の方などが制度をあまり理解できていないといったことが挙げられます。また、住民説明会に行きたいが、そこまで行く移動手段がないといった声も聞いています。運行を実施している中では、友人同士の情報交換といった、横のつながりが最も利用が広がりやすい印象を受けていますので、様々な周知活動により、こういったつながりができるようにするなど、利用を促進していくことが今後の課題になってくると感じています。</p> <p>一方で、利用をされている方は、この仕組みはインターネットで予約できること、料金が安いことなどから、とても便利な仕組みだと感じており、現状の利用は、インターネットで予約をされる方が多くなっています。</p>
石屋構成員 (代理：高臣)	愛知県交通対策課です。この事業については、愛知県で参加市町村を募集して実施していますので、補足で説明をさせていただきます。資料として配布されているパンフレットだけでは、制度が分かりづらいと愛知県としても感じていますので、今後も様々な取組を進めていく予定です。地元自治会を対象とした説明会は、制度開始前に実施をしましたが、今後、瀬戸市では、シニアクラブなどの集まりに訪問して、説明を実施する機会を設けたいと考えています。尾張旭市では、イトーヨーカドー尾張旭店の店舗の一部をお借りして周知イベントを計画しています。実際に話を聞き、制度を知ってもらい、その場で予約までしてもらうのが理想だと思いますので、こういった機会を増やし、多くの方に御利用いただきたいと思います。また、本実証実験の運行マップなどについては、議題1で説明があったデマンド交

	<p>通実証実験の参考にもなると感じますので、御活用いただければと思います。</p> <p>次に、先程お話しがあった登録者数の関係ですが、利用実態を見ますと、登録者の5分の1程度の方が利用をしているという実績になっています。そのため、実際に利用をしてもらうためには、もう少し周知などに工夫が必要なのではないかと感じています。また、利用実態としては、一度御利用いただいた方は、複数回御利用されることが多い状況となっています。</p>
松本会長	<p>引き続き、周知を実施していくということですね。まずは、御利用いただくということが第一歩となりますが、その第一歩を後押しすることが本当に難しいと感じています。他の自治体のデマンド交通についても、チョイソコせとあさひのように登録者数と利用者数が乖離することは多く見受けられますが、市民の方に知ってもらうための取組を継続することは重要ですので、引き続き取組を継続していただければと思います。</p> <p>他に御意見、御質問はありますか。</p>
高橋構成員	<p>公募委員の高橋です。私は、市西部の霞ヶ丘というところに住んでいますが、霞ヶ丘という地域は、交通サービスが充実しているようには感じていません。こういった実証実験の実施地区が広がり、霞ヶ丘でも交通サービスが充実していくと良いと思います。</p>
松本会長	<p>事務局いかがでしょうか。霞ヶ丘に限らず、他の地域でもこういった話は出てくると感じますので、そういった観点でお話しいただければと思います。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>チョイソコせとあさひと議題1で御説明をしたデマンド交通実証実験については、ともに霞ヶ丘が対象地区となっていませんが、実証実験の実施によって、様々な事柄が見えてくるかと思えます。その中には、今後の市営バス運行の参考にできるようなものもあると思いますので、そういった内容も踏まえながら、検討を進めていきたいと考えています。</p>
高橋構成員	<p>今は主に自動車で移動をしていますが、いずれは、免許返納をする時が来ると思いますので、こういった新たな取組は、その時に向けての希望になります。</p>
松本会長	<p>良いことですね。このように実証地区でない地域も、いずれは運行してほしいと多くの方が感じていると思いますので、そういう意味でも確実にデータを取って、そのデータに基づいて、市の施策に落とし込んでいくのが良いのではないのでしょうか。</p> <p>他に御意見、御質問はありますか。</p>
水摩構成員	<p>愛知県交通対策課さんへの御意見です。インターネットで予約することに対して、ハードルが高い方が多いため、予約する気にならず、利用が少ないという状況になってしまっているように感じます。75歳以上の方な</p>

	<p>どは、インターネット利用が非常に苦手です。こういったインターネット利用が苦手な方に対しても、利用をしていただけるような方法を考えてほしいと思います。</p>
<p>石屋構成員 (代理：高臣)</p>	<p>電話でも予約受付はしていますので、お気軽にお電話をしていただければと思います。実際に電話受付をしているオペレーターの様子も見たことがあります、丁寧に対応をしています。ただ、パンフレットの構成として、インターネット予約のページが目立ってしまっているので、説明会の実施時などには、電話でも予約可能だということを伝えていくようにしたいと思います。</p>
<p>松本会長</p>	<p>確かにこのパンフレットを見ますと、電話予約はできないと思われる方がいるかもしれません。</p>
<p>石屋構成員 (代理：高臣)</p>	<p>登録は紙でも可能ですが、紙での登録、電話での予約ができることをもう少し分かりやすく伝える工夫が必要だったかなと思います。</p>
<p>水摩構成員</p>	<p>若い人向けであれば、このパンフレットで問題ないと感じますが、インターネット利用が苦手な方には、誤解を招いてしまうかもしれない内容だと思います。どんな方でも利用しやすい案内をしてほしいと思います。</p>
<p>松本会長</p>	<p>電話予約用とインターネット予約用の2種類があると良かったかもしれませんね。電話予約用であれば、今のパンフレットに記載してあるインターネット登録及びインターネット予約の記載は不要となりますので、ハードルも低く、簡単に利用できるというイメージにつながるかと思います。</p>
<p>石屋構成員 (代理：高臣)</p>	<p>今後、シニアクラブなどに説明をする際の説明の仕方は、検討をしていきたいと思います。</p>
<p>水摩構成員</p>	<p>横のつながりを作るため、シニアクラブ連合会と連携しながら、取組を進めることができると良いと思います。</p>
<p>事務局(都市計画課長)</p>	<p>先日、地元のシニアクラブの方が周知に御協力いただけるということでしたので、パンフレットをお渡ししましたが、こういった取組は続けていきたいと思います。</p>
<p>松本会長</p>	<p>実証実験は1月までですので、あまり時間がありませんが、分かりやすい案内、様々な媒体を使った情報提供をぜひ継続していただければと思います。</p>
<p>横山構成員</p>	<p>利用状況などの皆さんのお話を聞いて、一般タクシーのお客さんに対して、チョイソコせとあさひを周知することを、今後は実施していこうかなと感じましたので、そういった取組も今後は進めていきたいと思います。</p>
<p>松本会長</p>	<p>様々な周知は、ぜひお願いしたいと思います。 他に御意見、御質問はありますか。 分かりやすい情報提供を継続し、より多くの方に御利用いただき、その</p>

	<p>結果を今後の施策検討に活かせるような形になれば良いなと思います。</p> <p>それでは、続きまして議題(4)「その他（報告事項）」に移りたいと思います。事務局から説明してください。</p>
事務局（都市計画課係長）	<p>その他（報告事項）については、「市営バスにおける試験運行の利用状況等についての報告」、「停留所の移設に関する報告」、「市営バスあさび一号へのバスロケーションシステム導入についての報告」、「市営バスにおける年末試験運行の実施に関する報告」、「車椅子対応車両の周知に関する報告」の計5点ございますので、順に担当者より御報告いたします。</p>
事務局（都市計画課主査）	<p>それでは、議題(4)「その他（報告事項）」について、順に御説明します。</p> <p><主な内容は、次のとおり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市営バスにおける試験運行の利用状況等についての報告」については、資料4-1に基づき説明。 ・「停留所の移設に関する報告」については、資料4-2に基づき説明。 ・「市営バスあさび一号へのバスロケーションシステム導入についての報告」については、市営バスの走行位置や車内の混雑状況を見える化するシステムを令和7年2月頃に導入する予定であることを説明。 ・「市営バスにおける年末試験運行の実施に関する報告」については、令和5年度に実際の利用者ニーズなどを把握し、今後の本格運行検討に向けての参考とすることを目的として実施した年末試験運行を、引き続き利用者ニーズなどを把握する必要があることから、令和6年度も実施することを説明。 ・「車椅子対応車両の周知に関する報告」については、第1回会議で車椅子対応車両の更なる周知について、御意見があったため、時刻表及び市の広報誌に掲載することにより、車椅子対応車両の周知をしたことを説明。
松本会長	<p>議題(4)「その他（報告事項）」の説明がありましたが、御意見、御質問はありますか。</p>
水摩構成員	<p>事業者との調整などがあり、なかなか難しいかもしれませんが、可能であれば、試験運行便が到着する8時35分よりも、もう少し早く愛知医大に到着する便があると良いと思います。高齢者は、病院にできる限り早く到着したいため、旭労災病院についても、現状の便よりも、もう少し早く到着する便があると良いと思います。現状の便よりも早く行きたい方はタクシーを利用しているのかもしれませんが、できる限り費用がかからない手段が良いという思いもあると感じますので、もう少し、運行時間を早めていただければ、現状よりも更にあさび一号を有効利用できるようになると思います。</p>
松本会長	<p>事務局いかがでしょうか。</p>

事務局(都市計画課係長)	<p>今回の試験運行の状況を見ると、早い時間帯での愛知医大への移動需要が一定程度あるということが確認できます。ただし、この試験運行便の増便も運行事業者さんの協力があってできている状況になります。また、運転手さんの勤務の拘束時間という問題もありますので、その辺りを引き続き、運行事業者さんと協議しながら工夫をしていきたいと思っています。</p>
松本会長	<p>試験運行便に乗車されている方は、愛知医大の患者さんばかりなのでしょうか。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>患者さん以外にも、愛知医大の職員さんや学生さんが乗られているようです。</p>
松本会長	<p>運行時間を早めるかどうかは、そういったことも含めて、事実に基づいて判断した方が良いように思います。また、愛知医大は、ほとんど予約制ですので、利用者全員が朝の一番早い便だとは限りませんし、初診で愛知医大に行くこともないと思います。そういった病院の利用に応じた運行時間の設定が重要になってくると考えます。</p> <p>他に御意見、御質問はありますでしょうか。</p> <p>ないようですので、続きまして、お手元にチラシを配布しております「公共交通ってイイネ！中高生フォトコンテスト」及び「地域公共交通シンポジウム」について、愛知運輸支局の宮川様から説明をお願いします。</p>
宮川構成員	<p><「公共交通ってイイネ！中高生フォトコンテスト」及び「地域公共交通シンポジウム」について説明。主な内容は次のとおり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公共交通ってイイネ！中高生フォトコンテスト」は、中高生が写真を撮影することにより、公共交通に親しみを持ってもらいたいと考え、実施している。周りに対象者の方がいれば、周知をしてほしい。 ・「地域公共交通シンポジウム」は、公共交通でのデジタル技術活用に関する事例紹介などを実施する。御興味があれば、御参加いただきたい。
松本会長	<p>ありがとうございました。フォトコンテストについては、周りに対象者の方がいれば、ぜひ周知をお願いします。また、地域公共交通シンポジウムについては、御興味がありましたら御参加をいただければと思います。</p> <p>その他、何かありますでしょうか。</p> <p>事務局何かありますでしょうか。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>事務局から次回の地域公共交通会議の予定について、御案内いたします。次回の会議は、年明けの2月7日、金曜日、午前10時からの開催を予定しております。別途、通知文を送付させていただきますので、そちらでも実施日の御確認をよろしく願いいたします。</p>

	<p>また、事務局から1点御案内になります。11月19日の火曜日に市営バスあさび一号に関する利用者懇談会を予定しています。市営バスをより良くするためのアイデアを利用者の皆様と一緒に考える場として、実施したいと考えていますので、もし、お近くの方で御興味がありそうな方がいれば、御案内いただければと思います。</p>
松本会長	<p>2月7日の午前10時で次回の会議を御予定いただくとともに、利用者懇談会については、お時間があれば、ぜひ御参加いただければと思います。</p> <p>本日の会議もたくさんの御意見をいただき、ありがとうございました。以上で私の進行は終了したいと思います。進行に御協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局（都市計画課長）	<p>松本会長ありがとうございました。また、構成員の皆様におかれましては、活発で忌憚のない御意見をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>それではこれもちまして令和6年度第2回尾張旭市地域公共交通会議を終了します。ありがとうございました。</p>